

月刊『腫瘍内科』投稿規定

< 編集顧問 >

田村和夫 直江知樹 秋田弘俊 石岡千加史 中川和彦

< 編集委員長 >

西條長宏

< 編集委員 >

佐伯俊昭 大津 敦 内富庸介 小林幸夫
大江裕一郎 古瀬純司 勝俣範之 田村研治

腫瘍内科領域に関する論文を募集します。執筆要領は次の各項の投稿規定にしたがって御執筆下さい。

原著・投稿規定

- 1) オリジナルの研究および症例報告を主とし、他誌に掲載されていないものとする。
- 2) 投稿原稿の執筆要領は下記の通りとする。
研究 本文・文献は8,000字以内、写真・図・表は8個以内(組上り6頁まで無料)。
症例 本文・文献は6,000字以内、写真・図・表は6個以内(組上り5頁まで無料)。
- 3) 原稿はパソコンまたはワープロで横書きとし、専門用語以外は当用漢字、現代仮名遣いを用い、句読点は正確に書くこと。なお、プリントアウトした原稿とともに、使用機種とソフト、ファイル名を明記した本文テキスト・図・表の電子ファイルを同封すること。
- 4) 表題、著者名、所属は本誌の体裁にならって和英併記、また、必ずパソコンまたはワープロで400~600語の英文抄録を添付し、5項目以内の**Key Words**を英語で指定すること。
- 5) 外国語の固有名詞(人名、地名)は原語のまま用いる。ただし、日本語化しているものはなるべくカタカナとする。商標薬品名[®]、その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが、文中の外国語単語(病名、その他)の頭文字はドイツ語名詞および文頭の場合を除きすべて小文字とする。
- 6) 数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位で、m, cm, mm, cm², l, dl, ml, kg, g, mgなどとする。
- 7) 写真・図・表には必ず表題(必要に応じて説明も)をつける。また、組織標本には染色法と倍率をつける。写真は手札型以上の大きさで鮮明であること。なお、原寸大の製版を必要とする場合はその旨を明記のこと(21cm×14cmを限度とする)。カラー印刷希望の場合は有料(1点5~10万円)となる。図でトレースを要するものはトレース料(1点5千~1万円)を申し受ける。他誌より写真・図版を転載する場合は権利者の許諾を得た上でその旨を明記する。
- 8) 文献は本文中に用いられてもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし、本文中の引用箇所には必ず肩番号を付すこと。また、文献の書き方は下記のように統一し、原則として表記法はバンクーバースタイルに準じ、欧文雑誌の略名は、最近の**Index Medicus**に従うこと。
< 雑誌 > 著者氏名・題名・副題・誌名・西暦発行年; 巻数: 起始頁。
< 書籍 > 著者氏名・書名・版数・発行地: 発行所名; 西暦発行年・巻数, 引用頁。著者書籍は、邦文の場合は例4, 欧文の場合は例11にしたがうこと。引用文献の著者氏名、編者氏名は、4名以内の場合は全員を書き、5名以上の場合は3名連記し、-, ほか(英文の場合は et al.)- とする。文献の表題は、副題を含めてフル・タイトルを記すこと。学会発表の抄録を引用するときは表題の最後に[会], 欧文発表の場合は[Abstract] とすること。その他、以下の例にしたがって誤りのないよう注意すること。文献規定が守られていなかったり、引用の誤りがあるときは、採用されないことがあるので十分注意すること。
例 1) 斎藤幸夫, 沢田俊夫, 正木忠彦, ほか. 大腸早期癌の自然史. 消化器科 1995; 20: 43.
2) 村井敏夫, 渡辺純夫, 広瀬美代子, ほか. ヒト培養胃粘膜細胞における細胞骨格および細胞間接着装置(会). 日本消化器病学会雑誌 1993; 90: 269.
3) 古川哲雄. ヤヌスの顔. 東京: 科学評論社; 1992. p. 107.
4) 谷村 弘. 完全静脈栄養とビタミン. 折茂 肇, 稲田雅美・編. 図説ビタミン学. 東京: 科学評論社; 1994. p. 117.
5) Quincke H. Ueber lumbarpunction. Berl Klin Wochenscher 1895; 32: 861, 889.
6) Buchthal F. Electrophysiological abnormalities in metabolic myopathies and neuropathies.

- Acta Neurol Scand 1970 ; 46 Suppl 43 : 129.
- 7) Castaigne P, Escourolle R. Etude topographique des lésions anatomiques dans les hypersomnies. Rev Neuro (Paris) 1967 ; 116 : 547.
 - 8) Lorenzi M, Cagliero E, Toledo S. Glucose toxicity for human endothelial cells in culture : delayed replication, disturbed cell cycle, and accelerated death. Diabetes 1985 ; 34 : 621.
 - 9) Gibbs CJ Jr, Fajdusek DC, Asher DM, et al. Creutzfeldt-Jakob disease (spongiform encephalopathy). Transmission to the chimpanzee. Science 1968 ; 161 : 388.
 - 10) Carpenter MB. Human neuroanatomy. 7th ed. Baltimore : Williams & Wilkins ; 1976. p. 49.
 - 11) Lumsden CE. The neuropathology of multiple sclerosis. In : Vinken PJ, Bruyn GW, editors. Handbook of Clinical Neurology. Amsterdam : North-Holland ; 1970. vol. 9, p. 217.
- 9) First authorには掲載紙1部を無料進呈する。別刷を希望する場合は50部単位で実費作成するので、著者校正の際に申込むこと。
- 10) 刷上り頁が一定限度(研究6頁, 症例5頁)を超える場合は超過料金(1頁1万円)を著者負担とする。
- 11) 投稿論文の採否は編集委員が行ない、不採用論文はコメントをつけて直ちに返送し、採用論文の原稿は著者校正の時に同封して返却する。
- 12) 掲載を急ぐ場合は特掲制度を利用すること。
- 13) 原稿は書留郵便で(〒101-8531 東京都千代田区神田司町 2-10-8 科学評論社『腫瘍内科』編集委員会)宛に送ること。なお査読の都合上、原稿のコピー1部を必ず添付同封すること(郵便中における紛失などに対処するため、投稿論文のコピーは手元にも保存されるようすすめる)。

《Brief Clinical Notes・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、研究および症例報告に限る。かつ、他誌に掲載されていないものとする。Originalityの高い速報もしくは予報的な報告を目的とする。本欄に掲載された後に、同じ内容の原著は本誌では採択しない。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は2,800字以内、写真・図または表は2個以内(組上り3頁まで無料)。
- 3) 英文抄録は不要。他は同じ。

《総説・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、腫瘍内科学上の問題について最近における内外の知見を総説的に記述したものとする。著者の原著報告であってはならない。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は16,000字以内、写真・図・表は計10個以内(組上り15頁まで無料)。
- 3) 英文抄録は不要。8項目以内の**Key Words**を英語で指定すること。他は同じ。

《腫瘍薬理・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 腫瘍疾患の治療薬や検査薬のPharmacology, Toxicology, Pharmacokinetics, Pharmacodynamics, Pharmacotherapeutics, または前臨床試験およびPhase I, Phase II, Phase III, Phase IVの臨床試験成績をまとめた論文とする。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は20,000字以内、写真・図・表は20個以内とする。英文抄録、**Key Words**は必ず原著投稿規定に従って添付すること。
- 10) 本欄掲載論文に限り特掲扱いかつ全頁を有料とする。

《記録・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は腫瘍内科学に関する研究会や検討会・討議会などの内容を記述したものとする。

- 2) 執筆要項は主催者の方針にしたがう。Key Words, 英文抄録は不要。
- 3) 会名は和英併記。開催日時, 開催場所は必ず記載する。開催後1年以上経過したものは受け取らない。
- 10) 本欄は全頁実費掲載とする。

《原典・古典の紹介・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが, 以下の点が異なる。

- 1) 本欄は腫瘍内科学上の古典・原点(疾患, 徴候, 症候群, 検査所見, 病理所見, 治療法, その他)を紹介し, 解説を加えた論文とする。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は6,000字以内, 写真・図表は計3個以内(組上り5頁まで無料)。写真・図・表はなるべく原点・古典そのものから複写を用いること。
- 3) 英文抄録, Key wordsは不要。他は同じ。
- 4) 文献の書き方は原著投稿規定に準ずるが, 雑誌の場合には, 著者(全員)。題名・雑誌 西暦発行年 発行日または月日; 巻(号): 起始頁~終頁, のように完全なものとする。
例 1) West WJ. On a peculiar form of infantile convulsions. Lancet 1841 Feb 13; 1(991): 724~725.
2) 呉 秀三。トムゼン氏病の一種。東京医学会雑誌 1892 June 5; 6(11): 205~214.

《人・土地・業績・投稿規定》

本欄は原著・投稿規定に準ずるが, 以下の点が異なる。

- 1) 腫瘍内科学上の傑出した内外の人物の伝記やその業績, ゆかりの深い土地, 研究所, 病院等について読者に紹介することを目的とする。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は8,000字以内, 写真・図・表は計10個以内(組上り6頁まで無料)。
- 3) 英文抄録, Key Wordsは不要。他は同じ。

《眼で見る腫瘍内科・投稿規定》

本欄は原著・投稿規定に準ずるが, 以下の点が異なる。

- 1) 腫瘍内科学上の典型的な写真(患者の症候, 内視鏡, X線, 超音波, CT, 血液像などの検査所見, 剖検所見, 組織所見, その他)の呈示を主な目的とし, それに簡単な解説を加えたものとする。したがって, 原著または症例報告の形式はとらないこと。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。写真(原則として白黒写真)は1~4個, 本文(解説)は文献を含め, 1,600字以内(組上り3頁まで無料)。
- 3) 英文抄録, Key Wordsは不要。他は同じ。

《数字で見る腫瘍内科・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが, 以下の点が異なる。

- 1) 本欄は, 腫瘍内科学上の種々の統計, 頻度などを数字や%によって表示することを主な目的とし, それに簡単な解説を加えたものとする。なるべく内外の統計を併記した形式が望ましい。他の著者の表を引用する場合には必ず出典を明記すること。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。表は8個以内, 本文(解説)は文献を含め, 3,200字以内(組上り4頁まで無料)。
- 3) 英文抄録, Key Wordsは不要。他は同じ。

《Letters to the Editor・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが, 以下の点が異なる。

- 1) 本欄は, 日常の診療・研究活動上得られたヒント, 思いつき, 発見!? 反省点, 誤診しやすい盲点, 薬の副作用など, また, 本誌に掲載された論文に対する各種の意見(追加, 討議, 希望など)を書簡の形式(口語体)で書いたものとする。将来, 文献として引用価値のあるものを採択する方針である。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。1,200字以内(組上り1頁まで無料)。写真・図・表はなしとすること。
- 3) 表題, 投稿者名は本欄の体裁にならって和英併記のこと。英文抄録, Key Wordsは不要。他は同じ。